

令和7年度 学校評価 保護者アンケート結果

評定……1：まったくあてはまらない 2：あまりあてはまらない 3：ややあてはまる 4：よくあてはまる

項目	評価観点	評価対象	評定 (%)			
			1	2	3	4
教育活動について	1 学校は楽しい授業、分かる授業のために工夫をしていると思う。 【努力目標：「関わりながら 学びを深める子」】	・授業づくり ・専科指導体制 等	0	10	59	31
	2 学校は、子供が自律心や思いやりをもった行動ができるよう、指導を工夫していると思う。 【努力目標：「思いやりをもって 友達と関わる子」】	・学級づくり ・道徳教育 ・学校行事 等	0	10	59	31
	3 学校は、子供が体力づくりや健康に関心をもって努力するよう、指導を工夫していると思う。 【努力目標：「自分の体を大切にし 運動を続ける子」】	・体育の時間 ・体育集会（マラソン記録会） ・体育的行事（運動会） 等	0	4	53	43
	4 家庭学習の習慣や、基本的な生活習慣の確立に対する学校の取組は有効であると思う。	・早起き・早寝・朝ごはんカード ・家庭学習 等	4	21	50	25
	5 学校は、命を大切にすることや社会ルールを守る態度を育てる指導を工夫していると思う。	・道徳教育 ・交通安全教室 ・あいさつ運動 等	0	7	57	36
	6 学校は、いじめの防止・早期発見・早期対応に努めていると思う。	・日常的な観察 ・教育相談 ・いじめ防止基本方針 等	1	23	54	22
家庭・地域との連携について	7 学校は、子供について気軽に話したり相談したりできる体制であると思う。	・学校、学級担任等への連絡や相談 ・スクールカウンセラー	0	14	50	36
	8 学校から出される文書などは、子供の様子や学校の教育方針を知るために有効であると思う。	・学校・学級便り ・保健室だより 等	0	13	45	42
	9 PTA活動は、保護者と職員との連携により適切に行われていると思う。	・学年PTA（親子レク） ・PTA諸活動	0	13	61	26
家庭生活について	10 お子さんは、早起き、早寝、朝ごはんなど、規則正しい生活をしている。		4	17	47	32
	11 お子さんは、決められた時間（学年×10分）、家庭学習をしている。		13	23	42	22
	12 お子さんは、テレビやゲーム、インターネットなどは時間を決めて使っている。		3	30	46	21

【お子さんにどんな力を付けさせたいですか。（どんな子供に育てたいですか。）】

保護者アンケートの回答から出された単語について以下にお知らせします。

第1位…思いやり 第2位…考える

第3位…行動 第4位…心

第5位…最後、挑戦、相手 その他…取り組む、諦めない、優しい、やれる、自立

などの単語が多くみられました。保護者の願いを大きく分別すると、「友達を大切にする子」「最後まで諦めないで努力を続ける子」「苦手なことにも挑戦する子」「自分で考えて行動できる子」と捉えることができます。来年度の教育課程編成に保護者の願いを反映させたいと考えています。

【教育活動に関する提言】

※アンケートの記述欄より抜粋及び簡略化して表記。（・保護者記述 →学校回答）

◎学校行事

- ・夏休み中の保護者面談の時間が短いです。相談したい事があっても次の人の時間で強制終了。ゆっくり話す時間がありませんでした。

→保護者の都合を反映させた上で面談時間の間隔を計画したいと考えます。

◎学習指導

- ・授業の工夫をしてくださったり、子供たちと積極的に関わりを持っていただき感謝しています。
- ・子供たちへの指導をしっかり行って欲しい。言葉のキツイ子がいて嫌な思いをしている子がいたり、仲間はずれのようにしたり、該当する子の親にきちんと伝えるべきだと思う。また、授業でもついていける子といけない子の差がハッキリしてきていると思う。
- ・担任の先生に分からないことを聞きづらいようです。もっと先生に分からないことを聞きやすい環境をつくってほしいです。

→いじめの未然防止と早期発見、組織的対応に引き続き努めます。また、子供の思いに寄り添うとともに、子供との信頼関係の構築を基盤とした学級経営に努めます。

- ・感想文の丁寧なのはありがたいのですが、手直しが多すぎると子どもの個性や感じたことが見えにくくなってしまふことがあります。添削の程度や方法についてご配慮ください。

→子供の思考力や表現力を最大限に引き出すために作文等の添削をする場合があります。今後は、子供の負担も考慮して、指導したいと思います。

◎宿題について

- ・ノー宿題デーは少し減らしてもいいと思います。週末に宿題がないと勉強しませんし、学力低下も言われているので宿題は出して欲しいです。(同様2件)

→昨年度から始めたノー宿題デーの趣旨として、保護者にとっては、「子供とふれあう時間の増加」「宿題について、家庭での指導が緩和し、保護者の負担軽減」であることを再度周知し、理解を得たいと考えます。

◎教師の言葉遣い等

- ・先生が子供たちの意見をちゃんと聞かずに注意するのは、子供たちの気持ちを傷付けかねないので、気を付けてほしいです。
- ・担任の先生の言葉遣いが悪すぎて傷つく事が多くあった。それがストレスとなり学校に行きたくないと言う事も増えた。

→教師が児童を指導する際には、不適切な言動がないように、今一度、教職員間で確認し、改善に努めたいと思います。

◎専科指導との連絡

- ・学年便りが出なかった週の時間割が分からなかったため、理科の準備ができず子供が困っていたことがありました。情報共有の仕組みを整えていただけると助かります。
- ・担任以外の先生が受け持つ教科の際に、準備物等を朝のうちに聞きに来るよう言われていますが、バス登校のため、担当の先生と時間が合わず子ども自身どうすればよいか悩んでいます。

→朝の時間帯、中休み、昼休み、放課後と限られた時間の中で、専科指導の先生と打合せがスムーズにできない場合、掲示板やメモなど連絡方法を工夫する必要がありますので、改善に努めたいと思います。

◎その他

- ・一部の児童ですが、態度や言葉遣い、友達との関わり合い方が乱暴な印象を受けます。
→学級の実態に即して、言語環境を整える指導を継続していきたいと思います。
- ・学級通信が月に一度しか来ません。子供達の様子が分かりにくく、週間の行事も忘れることもあります。他の学年では毎週学級通信があるそうです。改善していただきたいです。(同様1件)
→学級通信の発行頻度は、各学級担任の判断に委ねています。学級での出来事については、今後も連絡帳等を通じて保護者と連携を図っていききたいと思います。
- ・学校が楽しくないともらしていた時もあるので、「こうでなければいけない」を時々とっぴらうぐらいの楽しいことをやってもいいと思います。あと、映画上映会など積極的にやって欲しいです。
→学校行事との兼ね合いの中で、子供にとって「学校が楽しい」と言われるように、授業の充実や児童理解に努めていきたいと思います。
- ・学校としてどのような学校を目指したいのか、そのための取り組みがあまり伝わってこないように感じます。
→引き続き学校便り等での発信を心がけたいと思います。日頃から学校からのメールやお便りで案内している学校支援ボランティアでのご来校をお待ちしております。
- ・子どもが学校に行き渋るようになった時に、親身になって対応してくださった先生にはとても感謝しています。これからも子どもたちにとって第二の居場所であるような学校であってほしいです。
→児童の様子については、教職員間で共通理解を図るようにしています。今後も担任以外の教職員が個人面談や教育相談に当たりながら、児童理解に努めていきます。